

富永あけみ 通信

6月5日に開会した佐賀市議会6月定例会は、22議案すべてを可決し6月29日に閉会しました。

補正予算として、新型コロナウイルス関連経費ほか、佐賀駅北側からSAGAサンライズパークに続く、市道三溝線は無電柱化する事業や、市立体育館のエアコン設置事業などが盛り込まれました。しかし、市立体育館のエアコン設置に関しては、市が提案する「輻射式」(冷えたガスや水を金属製パネルに流して空気を冷やす方法)と、従来型のダクト方式とのコスト比較や説明が不十分との理由で、今回の予算案から設計費320万円を削除して可決しました。

【新型コロナウイルス対策】 関連で追加された予算

▶ 特別定額給付金… 約236億4,600万円

- 一人10万円給付
- 子育て世帯へ子ども一人1万円給付

▶ 専決処分

▶ 緊急経済対策… 15億円

▶ 専決処分

- 事業継続支援金 13億8,000万円
- 宿泊支援事業、クーポン券発行事業 1億2,000万円

▶ 6月追加補正予算… 約6億3,700万円

主な事業内容

- 新型コロナの影響で失業された方を市の職員として採用(20名予定)
- ひとり親世帯に給付金を支給(基本金5万円+第2子以降1人につき3万円)
- 就学援助を受けている世帯に給付金を支給(1人当たり1万円)
- 市有施設にマスクや消毒液を配布
- 「SAGAつながるタクシー」観光コースの創設
- プロスポーツチームと連携し、コロナ疲れから元気を取り戻す

さて、夏本番!熱中症に気を付けて
元気に乗り切っていきましょう!



公式ホームページ 更新中!

富永あけみ

検索



<https://www.tominaga-akemi.com/>

今月の富永さんち

松葉杖だからこそ



靱帯を痛め、松葉杖を使うことになった次男。

(なんと、6月議会中の出来事…)

「サッカーができない」と言っは泣き、「恥ずかしいから学校に行きたくない」と言っは泣き…。

「松葉杖はヒーローだよ!みんな優しくしてくれるから!」と何とかなだめて登校させました。

案の定、優しくされ過ぎて嬉しかった様子。そして「身体の不自由な人の気持ちが分かった」と言った次男。私には、それが嬉しいのです。

▶ 専決処分とは?

本来は議会にかけないといけない案件を、それを經ずに市長が決裁した案件について、議会の追認を得るもの。時間的に議会の招集を待てない緊急な場合(今回の新型コロナや災害など)に限定される。

一般質問
TOPIC.1

新型コロナウイルスによる 小中学校の臨時休校について

新型コロナウイルスによる休校を余儀なくされた子ども達。突然の政府要請や日々変化する状況に翻弄された方も多いでしょう。学校側としては、子どもの安全確保、学習支援、心身への配慮など、児童生徒、保護者との繋がりを大切にされた対応を取られてきましたが、特に多く寄せられたご意見よりピックアップしました。

※1「GIGAスクール構想」とは

児童生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信環境を一体的に整備すること。(※資金面も国が補助)文科省が2019年12月に発表した。当初、2023年度までの計画だったが、新型コロナの影響で2020年度中にと大幅に前倒しされている。「子ども達の個性に合わせた教育の実現」が目的である。

Q オンライン教育を進めるべきでは？

国が急ぐ「GIGAスクール構想」※1もあるが、学び方の転換期にある今、進めないとうどうしようもない時期にきていると思う。

学力保障としても必要性を感じる一方、「家庭と学校を繋ぐ手段」「子ども達と先生との対面の手段」など“かかわりの場”として、環境がない家庭には手立てを考慮した上で、次に備え、オンライン教育を進めていく必要があると思うが市の見解を。

A 今回のような緊急事態においてはICTの活用は望まれる。家庭と学校を繋ぐという視点で「オンライン教育」を進めていくことが重要と考える。

テレビ会議など色々な方法があるので、子ども達の実情に合わせて検討していく必要がある。

Q 子ども達の声の行き場が必要では？

子ども達を思ってこそその対応や議論ではあるが、すべてが大人目線でなされ、当事者であり、一番尊重されないといけな「子ども達の気持ち」が置き去りにされてはいないか。子ども目線に立ち、率直な想いや訴えを吸い上げる場が必要ではないか。

A 日頃からの信頼性の中で話しかけていける雰囲気を作ることが前提。子ども達が何を考え、どんな要求や願いをもっているのか、日頃から担任と話し合える環境づくりが必要であり、そういった教師の姿勢を作っていきたい。

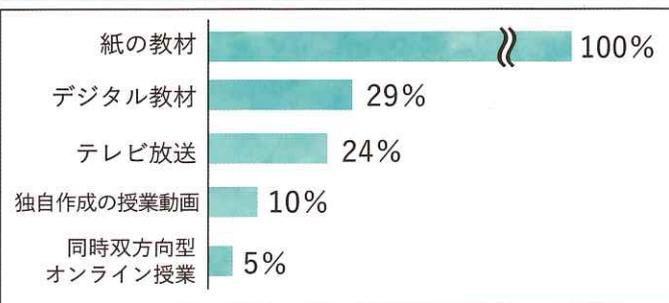
休校で聞こえた 保護者の声

- ・兄弟げんかや親子げんかが増えた
- ・なんかイライラしている
- ・食費や水道光熱費がかさむ
- ・子どもの生活リズムが崩れた
- ・テレビやゲームばかりしている
- ・勉強を教えようにも難しい(特に高学年)

休校で聞こえた 子ども達の声

- ・早くみんなに会いたい
- ・学校や外で遊びたい
- ・暇すぎる
- ・宿題したくない
- ・ずっと休みだったらいいのに
- ・自分、何年生だったっけ？

■ 休校中の家庭学習 (文科省調べ 4/16 時点)



- 小学校低学年には難しいのでは
- 親が不在の家庭への対応
- PCやタブレット、ネット環境にない家庭への配慮

課題

一般質問
TOPIC.2

市職員の新型コロナ感染リスクへの対策は？

新型コロナと立ち向かうため、医療従事者をはじめ、様々な分野で色々な方々が頑張っておられます。市庁舎も夜遅くまで電気が点いており関係部署は対応に追われているのがうかがえますが、市とし

ては行政機能がストップしてしまうのが一番の問題です。行政として市民向けの対策は講じられていますが、職員への対策はどうなっているのか質問しました。



Q 万が一、市職員が感染した時の対応は？

A 業務継続計画(BCP)に基づき、行政機能の維持に必要な最低限の人員を確保しつつ、濃厚接触者等には出勤自粛等の措置を行い、感染の拡大防止に努める。



Q 重症化リスクが高いといわれている、持病がある方や妊婦への配慮はすべきでは？

A 各所属長の判断で適切な配慮がなされていると考えている。なお、厚労省からも妊娠中の女性労働者の母性健康管理措置が発出されており、適切な配慮に努めたい。

Q 健康管理に関しては、産業医の健康相談やカウンセリング等周知されているが、激務の中、市民の方からいただいた「応援メッセージ」に元気づけられたという声も聞こえる。プラスのメッセージを発信することによって、モチベーションの向上にも繋がると思うので、他にも市に寄せられた「応援メッセージ」を公表したらどうか。

A ゴミ袋に書かれたメッセージに関しては市の公式 Twitter で広報したが、より多くの職員や市民に伝えられるよう、公開方法などについて、関係する部署とも協議しながら検討していきたい。



市民の方からのメッセージ

旧西友跡地に「コムボックス」がオープン！

佐賀駅周辺整備はどうなるの？

1FにJ Aグループのスーパーや産地直送販売、カフェ、観光案内施設「SAGAMADO」、NBCラジオ、2Fにドラッグストア、クリニック等が入店(予定も含む)。また、駅前広場の整備として、南口に水景施設、駅舎とコムボックスを結ぶ屋根など検討。一方、北口はSAGAサンライズパークと繋がる市道三溝線の活用などを検討。尚、この取り組みは国交省のウォークブル推進都市に指定されています。



(写真左) 佐賀駅周辺整備調査特別委員会での視察の様子

(写真右) 佐賀駅西側の多目的スペースに整備計画の模型を展示されています (2021年3月まで)



みんなで歩こう♪



兵庫町青少年健全育成会が 表彰されました！

佐賀県青少年育成県民会議の賛助会員として30年以上支援している団体として、県知事より感謝状をいただきました。日頃からの地域の皆さまのご協力とご理解に感謝です。



地域の皆さまと 花植え&芋植え会をしました！

藤木公園花壇のお手入れ会。これまではお花だけでしたが、今回は半分をサツマイモにしてみました。植えるのも育てるのも初めてという面々でしたが、秋の収穫が楽しみです(収穫できるといいなあ…)

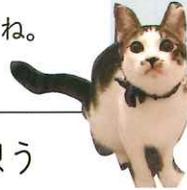


フラワーアレンジメントメッセージに 参加しました！

連合佐賀6月の「男女平等月間」にあわせての取り組みです。男女共同参画社会が叫ばれて久しくあり、少しずつではあるものの意識の変化を感じますが、目標にはまだまだなのが現実です。引き続き声を上げていくことが大切ですね。



数年前に撮った、栄の国まつりでの一コマ。
江戸時代、疫病退散を願って隅田川で打ち上げられたのが花火の始まりと言われているとか。今年は、新型コロナウイルスの影響で、佐賀市の一大イベントである「佐賀城下栄の国まつり」「佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」が中止になりました。
来年こそは今年の分まで、たくさん笑顔に包まれますように。
一日も早い新型コロナウイルス収束を願います。



富永あけみプロフィール



- 昭和48年12月1日生まれ
- 佐賀商業高校、日本大学卒業
- 平成29年10月佐賀市議選初当選(現在1期目)
- [党派] 無所属
- [会派] 社会市民クラブ
- [所属委員会ほか]

文教福祉委員会、議会広報広聴委員会、佐賀駅周辺調査特別委員会、議会ICT推進担当、森林・林業活性化促進議員連盟、佐賀市都市計画審議会審議員

- [所属団体ほか]

自治労佐賀県本部特別執行委員、佐賀市職労特別執行委員、兵庫町青少年健全育成会理事、子育て議員連盟、佐賀県女性議員ネットワーク

夏に想う

♪～雲は湧き 光溢れて～ 夏空を見上げると、このメロディーが浮かんでくる。「栄冠は君に輝く」大好きな曲の一つだ。
私が初めて甲子園に夢中になったのは小学生の頃。あの桑田・清原のKKコンビが活躍しPL学園が優勝した年だった。あれから数十年が経つ今年、甲子園に高校球児の姿はない。春の選抜に続き夏の甲子園まで…。それだけではなく、高校総体や中体連も。三年生にとって最後の夏を、新型コロナに奪われたのだ。失意の中、嬉しいことに、代替の交流試合やSSP杯、中体連の地区大会などが開催された。競技の結果や試合の勝ち負けだけでなく、練習の成果を発揮する最後の場を共有できたこと、仲間と築き上げた絆を表現できたこと、それらは自信となって、きっとこれからの人生に大きな意味を持つのだろう。
夢や目標に向かって頑張っている姿は美しい。彼ら彼女らのその姿が、誰かの勇気や元気、頑張ろうという力に繋がっていたりする。私は、汗まみれの夏の夕暮れが大好きで、今年もこの季節がやってきたなあ佐賀平野より西の空を眺めつつ想う。

発行元：富永あけみ

連絡先：〒849-0919 佐賀市兵庫北2-1-10
TEL/FAX 0952-77-9307
✉ sorairo.at1201@gmail.com

あけみ通信のバックナンバーもご覧いただけます

公式ホームページ

<https://www.tominaga-akemi.com/>



ご意見・ご要望は左記連絡先まで
お願いいたします。